

父母等懇談会を開催 ご参加ありがとうございました!

10月7日(土)教育後援会主催の父母懇談会を開催いたしました。
午前臨床検査学科、午後看護学科と学科別に行い、両学科合わせて約100名の父母等の皆様に参加いただきました。この場を借りて教職員一同、深く御礼申し上げます。

当日の全体説明会では、学長、教育後援会会長の挨拶、学科長による教育の取り組みについて説明をさせていただきました。看護学科では、卒業生による就職状況・学生生活における体験報告も行うことができました。

その後、アドバイザー担当教員等との個別面談を実施いたしました。15分程度の面談ではありましたが、多くの父母等の皆様からご子弟の学生生活の状況等を知っていただく良い機会になったと思います。

また、懇談会のアンケートから、開催について概ね良かったこと、臨地実習、国試対策、就職、学生行事等の状況など学生生活に関心をよせるご意見をいただきました。

今後とも学生支援等ができるよう、教職員一同精進してまいります。温かなご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



課外活動の奮闘

●健康いきいきフェア inトナリエ四日市

10月22日「健康いきいきフェア」がトナリエ四日市にて開催されました。

イベントでは臨床検査技師の職業紹介や血管年齢・体年齢の体験コーナー、スキンチェック等、様々なブースを設けていました。学生達は多くの地域の人々と直接触れ合うことでとても良い経験になったのではないのでしょうか。



学生生活の様子

●HP用動画撮影

9月19日、ホームページ用の撮影が行われました。学生は少し緊張感みでしたが、撮影が始まるととても楽しい雰囲気です。ホームページでは、大学案内、入試情報など様々な情報を発信しています。

●クリスマスツリー設置

12月1日、クリスマスツリーの設置が、学友会が中心となって行われました。学生達は皆で協力しあって、オーナメントやイルミネーションライトをツリーに飾り付けしてくれました。毎年、学生・教職員や来校者の目を楽しませてくれています。寒中、ありがとうございました!

●クリスマスお菓子詰め

12月20日、学友会主催のクリスマスイベントとして、お菓子詰めが開催されました。学生達は何が詰めるか興味津々の様子で、会場には多くの学生が参加して、とても賑わっていました。



オレンジの風

四日市看護医療大学
教学課
News

Vol.58

2024.1.24

Yokkaichi Nursing and Medical Care University

就職内定者喜びの声



看護師 <看護学科4年生 渡邊 菜花さん>

私がこの病院を選んだ理由は、最先端の高度な技術を用いた急性期医療を提供しており、幅広い知識を得ることができるためです。また、生まれ育った四日市で地域の皆様の健康を支え貢献したいと考えたため志望しました。就職試験の準備では、小論文の添削や面接練習を何度も先生方に依頼し、早く引き受けてくださいました。また、分からないことは先生方や友人に相談し、不安や疑問を残すことがないように行動したことで乗り越えることができました。今後も目指す看護師像に向けて頑張っていきたいと思っております。みなさんも大変な時期が重なることがあると思いますが、頑張ってください。応援しています!



保健師 <看護学科4年生 木田 心さん>

私は元々予防医学の中でも特に一次予防である健康づくりに興味がありました。地域住民の方々が住み慣れた地域で、安心して健康に暮らせるようにサポートしていきたいと考え、より住民の方々に身近な存在である市町村保健師を志望しました。採用試験を受けるにあたり、就職活動に取り掛かるのが遅かった事と、国家試験対策や卒業研究が重なる時期であったため、とても不安が大きかったです。しかし、先生が親身に相談に乗って下さったおかげで、自信をもって自分らしく最後まで取り組みました。就職活動では、情報収集や筆記試験対策など早めに取り組む事で余裕が持てると思います。皆さんも無理せず自分のペースで頑張ってください。



助産師 <看護学科4年生 松井 結菜さん>

私は助産師の専門性を活かして妊娠や分娩、育児まで妊産婦さんに継続的に寄り添いたいと考え、分娩数も多く、リスクからハイリスクまで様々なケア実践ができるこの病院を志望しました。また、助産実践能力がレベルIIIと認定されたアドバンス助産師も多く、その方たちの実践から刺激を受け、助産師として幅広く学ぶことができる点に魅力を感じています。就職活動は、実習や講義、研究と重なるため、早めに志望する病院を決め、小論文や面接の練習をするの良いと思います。大変なことも多くありましたが、勉強・就職活動を支えてくれた友人、先生方のおかげで乗り越えることができました。皆さんも自分の夢に向かって頑張ってください!



臨床検査技師 <臨床検査学科4年生 仲谷 麻矢さん>

私は、620床の総合病院から内定を頂きました。就職前は、地元こだわらず、検査のジェネラリストを目指せる病院に就職したいと考えており、地域・救急・へき地医療など様々な医療を担っているところに魅力を感じました。募集が出る前の2月に病院見学に行き、将来像が実現できると感じ、ここで働きたいと強く思いました。面接に向けては、徹底的に自己分析と病院調べを行い、質問に対して自分の言葉で表現できるまで練習しました。小論文は、何度も先生方に添削をしてもらうことで、構成や表現が上手できるようになり試験当日も自信をもって書くことができました。後輩の皆さんも将来像を定め、それを実現できるよう頑張ってください。



臨床検査技師 <臨床検査学科4年生 伊佐 樹さん>

私は第一志望の病理部で業務を行うことができる大学病院から内定をいただきました。病理検査、細胞診検査は診断や治療に影響する大切な検査です。また、この病院では多くの検体、症例を取り扱っています。そこに臨床検査技師、細胞検査士として貢献したいです。就職活動に関しては先生をはじめ、多くの方々に履歴書の添削や面接練習など力を貸していただきました。そのお恩を忘れず日々の業務に励みたいですね。後輩の皆さんには日頃から人とのご縁を大切に、情報収集や試験対策をしっかり行ってほしいと思います。患者さんにとって正確な検査結果を届けるだけでなく、他職種の方々からも頼られるような臨床検査技師、細胞検査士を目指します。

4年ぶりの大学祭、無事終了しました!

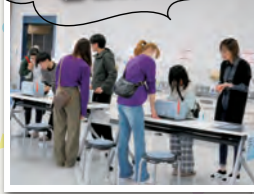
10月28日(土)に3年ぶりの大学祭を開催しました。
これまで四日市大学と合同で行っていたものを別々にし、看護学科×臨床検査学科の学祭となりました。全学生にとって初めての学祭で、特に初参加の臨床検査学科は前例がなく手探りの作業でした。過去の資料だけを頼りに、小規模ながら協力しあって開催まで至ることが出来ました。

看護体験や臨床検査体験のほか、教職員イベント、キッチンカー、ビンゴ大会など学生、来場者ともに楽しめるイベントを用意しました。ビンゴ大会には大変多くの方が参加され、久々の開催ながら賑やかな学祭になったと思います。開催したことで把握できたことや浮上した問題点、改善点などを踏まえ、来年はさらに良い学祭になることを期待しています。



看護体験

臨床検査体験



縁日

こどもフェス



キッチンカー



不用品バザー



ビンゴ大会



学生スタッフの声

お客さんにも楽しんでもらえた。(看護学科1年生 学友会 小岐須 絢萌さん)

看護体験を担当し、様々なお客さんと接することができたのでとても良い機会になりました。今よりもっとうまくコミュニケーションがとれるようにがんばろうと思いました。初めての学祭楽しかったです。(看護学科1年生 学友会 清水 朝陽さん)

準備では、みんなで考えて看板をつくるのが楽しかった。当日では、看護体験のブースを担当をした。来てくれた方々とコミュニケーションをとることができ、とても良い経験になった。(看護学科1年生 学友会 杉谷 優さん)

沢山の方々とコミュニケーションをとることができ、とても良い思い出になりました。お客さんの笑顔を見て看護師になれるよう、今後も頑張りたいと思いました。来年も是非参加したいと思います。(看護学科1年生 学友会 鈴木 そらさん)

多くの人が参加してくれてうれしかった。(看護学科1年生 学友会 豊田 真奈美さん)

初めての大学祭で楽しかった!(看護学科1年生 学友会 堀田 莉杏さん)

色々な人と関わって楽しかった!!(看護学科1年生 学友会 堀 萌々菜さん)

今日は、病理のブースを担当しました。臓器の細胞についてお客様に分かりやすく説明しました。みんな興味を持ってくれたので、やりがいを感じました。この活動を通して、より人体の構造について理解を深めることができました。(臨床検査学科2年生 学友会 小出 元大さん)

くれよんサークルでは、制作販売・看護体験・手作りゲーム、これら3つのコーナーに分かれて活動させていただきました!私たちは手作りゲームコーナーを担当させていただきましたのですが、ダンボール迷路、パズル、輪投げ、魚釣りなど、小さい子が楽しめるようなゲームを準備しました。初めての学祭ということもあり、緊張や不安を抱えながらの当日となりましたが、たくさんの子どもの笑顔を見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました!

(看護学科2年生 くれよんサークル 喜多村 歩さん)

看護体験では、なちゅらんさんと一緒に赤ちゃんの抱っこ体験やオムツ交換をしました。普段のサークル活動とは違った企画内容で利用者さんの楽しそうな姿もみることができ、充実した時間を過ごすことができました。

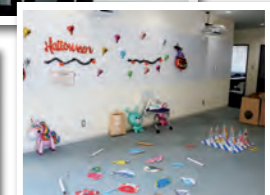
(看護学科2年生 くれよんサークル 近藤 柊里さん)

くれよんサークルで販売・制作コーナーを担当しました。多くの小さなお子様が制作コーナーで楽しそうに作っている姿を見ることができ、嬉しかったです。とても充実した一日を過ごすことができました。

(看護学科2年生 くれよんサークル 湊川 千優さん)

沢山の方に来ていただき、とても楽しかった。大人数だけでなく個人で絵本を読む新鮮さがあった。小さい子を対象とするサークル(絵本サークルとくれよん等)は、同じゾーンにいた方が、もっと活気に溢れたのではないかと思います。

(看護学科4年生 絵本サークル 町田 奈波さん)



企画から調整、準備などがんばってくれた学友会メンバー

<2年生>

泉 咲羽さん、市田 一輝さん、川合 希望さん、坂井 悠斗さん、清水 優里さん、高村 花さん、竹内 彩乃さん、中村 美結さん、平田 凜さん、和田 結愛さん

<1年生>

小岐須 絢萌さん、清水 朝陽さん、杉谷 優さん、鈴木 そらさん、豊田 真奈美さん、中川 はおさん、野崎 千衣奈さん、長谷川 華さん、樋口 芽生さん、日比野 汐梨さん、堀田 莉杏さん、堀 萌々菜さん、松田 莉奈さん、水谷 はずきさん、森山 千明さん、山川 瑠菜さん、八幡 えみりさん、吉田 結香さん

<2年生>

伊藤 冬弥さん、尾崎 龍優さん、加藤 大さん、小出 元大さん、中森 匠紀さん、西川 祐平さん、長谷川 莉久さん

<1年生>

青山 祥太郎さん、市川 翔大さん、大橋 茉那さん、岡田 麻那さん、小川 日向さん、高見 彩葵さん、谷本 陽菜さん、出橋 怜さん、遠山 輝さん、西野 楓華さん、早見 紗英さん、山田 菜々美さん

ピンク色は実行委員 ※50音順で掲載

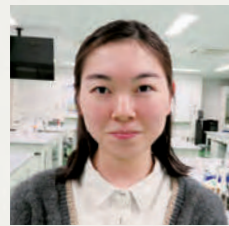
臨床検査学科

看護学科

臨地実習レポート

実習名 総合臨床実習 **実習期間** 2023年6月12日～2023年9月1日

臨床検査学科3年生 中田 実結さん



臨床検査の場で働く先生方に、「より早く・正確に疾患にたどり着き、治療に進むことが出来るように」ということを第一に考え、そして様々な検査結果を関連づけ、多角的に捉えることが大切であると教えていただきました。実習を通じ、あらためて検査の結果を出すうえにおいて、その信頼性を見極め、臨床に対して必要とされる情報を発信できる臨床検査技師になりたいと思いました。

二つの施設で臨地実習を行わせていただいたことで、各施設の異なった特色を感じることができ、今回学んだことを糧に臨床検査技師としての資質の向上に日々努力していきたいと思えます。

実習名 基礎看護学実習Ⅰ **実習期間** 2023年8月28日～2023年9月8日

看護学科1年生 三輪 将之さん



私達1年生にとって初めての臨地実習であり、聞いたことが無い専門用語や初めて知る看護技術が多く存在していました。分からない専門用語や技術を帰宅後に調べて、自分で理解したことをグループの仲間や教育担当の先生と確認する事で印象深い知識として残す事ができました。また患者とのコミュニケーションは患者さんのことを知る上でとても重要なツールだと感じました。これからの学校生活や日常生活で積極的にコミュニケーション技術を高める努力をしなければなりません。

1週間の実習で、理想の看護師像を目指しての勉強や、校内演習への取り組みのモチベーションを高めることが出来ました。次の臨地実習に向けて看護技術や知識を1年生の皆さんと高め合っていきたいです。

実習名 領域別看護学実習 **実習期間** 2023年9月11日～2024年3月1日

看護学科3年生 田中 里奈さん



今回の実習では赤ちゃんから高齢者まであらゆる健康レベル・発達段階にある対象者の看護を行いました。そのため各段階の身体的・精神的・社会的特徴を理解することが対象者に応じた看護につながっていくことを学びました。また病棟のほかにも介護老人保健施設や訪問看護ステーションでも実習を行い、入院だけでなく、退院後を見据え、患者さんが自宅や施設に戻った後も生活を送っていきけるような援助を考えていくことが大切だと学びました。今後も実習が続きますが、1つ1つの経験や関わりを振り返り、自己の課題にしっかりと向き合い、成長につなげていきたいです。

実習名 領域別看護学実習 **実習期間** 2023年9月11日～2024年3月1日

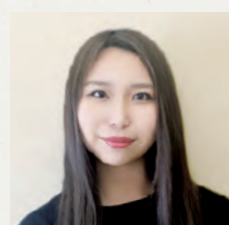
看護学科3年生 福田 愛莉さん



以前は、新型コロナウイルスの影響で患者様と関わる時間に制限がありましたが、今回の実習からは制限がなくなり、患者様と多くの時間を過ごすことができました。看護援助では、これまで講義や演習で学んできた知識・技術を活かし、患者様に提供させていただきました。患者様にとって、より安楽な援助を提供するためには、教科書通りの知識・技術のみではなく、その方に合わせた方法で行うこと、時には手順を変えることも必要であるということ指導者さんや教員のご助言から学びました。今後の実習では、学んだことを活かすとともに、看護に必要な実践能力を向上することができるよう観察力・判断力を磨いていきます。

実習名 助産学実習 **実習期間** 2023年8月下旬～2023年10月上旬

看護学科4年生 赤桐 夏音さん



助産学実習に向けて4月から準備を進めてきましたが、実際、産婦さんを前にすると思うように動くことができず、日々、落ち込むことばかりでした。自身の行動が直接母児に影響することを実感し、変化を捉えて瞬時にケアへ繋げていくことの難しさ、2つの命を預かることの責任の重さを痛感しました。

しかし、出来なかったと落ち込んで終わるのではなく、その反省を次にどう活かすのかを考えることがとても大切であると学びました。夜間実習もあり、身体的にも大変でしたが助産師さんや先生方、他のメンバーに支えてもらいながら乗り越えることが出来ました。受け持たせていただいた産婦さんと赤ちゃんへの感謝を忘れず、今後も努力していきます。

4年ぶりの海外研修再開！〈2023年8月6日～2023年8月13日〉

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見合わせていた海外研修を4年ぶりに開催することができました。13名の学生は、講義、実習、病院見学などを通して現地の方々と交流し、日本と海外の文化や医療の違いを肌で感じるとともに将来につながるコミュニケーションを養うことができたのではないのでしょうか。現地で体験したことをぜひ、将来に活かしてほしいです。

参加者の感想



〈看護学科2年生〉高司 梨花さん

1週間というとても短い間でしたが、貴重な経験をさせていただきました。英語はとても不安でしたが、語学のクラスでは英語での問診の仕方や医療の専門用語などを楽しく学ぶことができました。また、実際に現地で働く看護師の方の話を聞いたり、大学の看護学科で使用されている最新の機械を見たり触らせていただいたりなど、日本とアメリカの看護制度の違いについて学ぶことで看護についてさらに考えるきっかけになりました。自由時間は少なかったですが、ディズニーに行ったことや寮で同世代の方たちと英語で会話できたことはとてもいい思い出です。無事に海外研修に行くことができたこの環境に感謝し、これからも様々なことに挑戦していきたいです。

参加者の感想



〈臨床検査学科2年生〉栃木 大輝さん

1週間という短い期間の中、1日1日沢山の貴重な体験をすることが出来ました。アメリカの医療についての講義、施設見学、英語のクラス、実際に病院で働いている人のお話、食事や文化、遊びの時間など初めての経験で勉強になりました。授業だと病気の症状の説明の仕方や用語について一般的な使い方の違いを楽しみながら看護・検査に直結している語学の授業があり、医療についての授業はアメリカでは臨床検査技師というくくりは無く、一つ一つの業務に資格が必要になることや、MRI、検査の違いなど興味深いことを聞くことができました。看護のことだと日本にはないNP(ナース・プラクティショナー)のことについて講義してもらい、実際にNPとして活躍している日本の方から日本とアメリカの医療や文化の違いなど詳しいお話を聞いたことで医療について深く考えることが出来ました。また、友達とカリフォルニアディズニーランドに行って遊んだこと、バスに乗って綺麗な海に行ったこと、英語を使って買い物したこと、The・アメリカという食べ物を食べたことなど楽しかったことや授業はどこを切り取ってもとても大切な思い出であり、また行きたいという関心が湧き、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



学科トピックス

看護学科

1年生 後学期授業「ヘルスアセスメント」

1年生では、看護技術に関わる演習を行っています。何度も練習を繰り返し、難しい技術を身につけます。この日は9つのベットに分かれ一人ずつ血圧測定の技術チェックを実施していました。教員を相手に実施することもあり、学生たちは緊張の面持ちでしたが、直前まで学生同士で練習に励んでいました。



まずは物品を準備します。

順番が来るまで静かに待ちます。緊張が伝わります。

いよいよ出番です。教員に名前を伝え準備します。

患者役の教員の血圧を測定中。緊張の瞬間です！

2年生 後学期授業「成人慢性期看護援助論」

2年生では、長期の療養を支援する看護援助について学びます。この日は人形を使って、実際に一人ずつ喀痰吸引の演習を行っていました。喀痰吸引とは、痰など自分の力だけでは十分に出不せない場合に、器械を使って出す技術です。大切な看護技術ですが患者さんには苦痛を伴います。学生達は、緊張しながらも患者さんの気持ちを考えながら一生懸命に取り組み、学びを深めていました。



吸引の前には器械の点検もあります。

手を取りながらの指導

3年生 領域別看護学実習開始

8月31日と9月1日の両日に領域別看護学実習オリエンテーションを行いました。全体では実習の心得について、各領域では、スケジュールや事前課題、実習の留意点などの説明がありました。

学生達は4年生からのアドバイスに耳を傾け、実習に向けた学習の準備を整える機会となりました。半年にもおよぶ臨床実習も残り約2か月となりました。頑張ってください！



4年生 保健師専攻課程 地域看護学実習発表会

20日間にわたって取り組んだ地域看護学実習の最終日10月10日、学生達は学びの集大成を発表しました。司会進行を学生が担当し、活発な質疑応答もありました。自分たちの実習を振り返ると共に、他のグループの取り組みについても興味深く聞く機会となり、有意義な発表会となりました。実習を終えた4年生は、現在、国家試験全員合格に向けた学修などに取り組んでいます。



臨床検査学科

1年生 後学期授業「生化学実習」

実験器具および機器の正確な取り扱い方と生化学の知識を学修するための実習になります。器具、機器の使用法、試薬調製法を修得後、糖質、タンパク質、酵素などに分け実習を行います。この日は酵素の基質濃度と反応速度の関係を確認する実験でした。



2年生 後学期授業「生理機能検査学実習」

この実習は、病院で使われる機器とほぼ同じ機器を使用するので、臨床検査技師を実感できる科目かと思えます。病院の検査と同じように超音波検査を行います。患者さんの体に直接ふれて行う検査なので、コミュニケーションが重要です。学生同士、検査者と患者役の両方を体験し、対人技術を修得します。講師の先生方も実務経験豊富な先生ばかりで学生達は、いつもよりもさらに目を輝かせて!?実習を行っていました。



準備のためプローブ(探触子)にゼリーをつけています。

患者(学生)さんの腹部を検査しています。

先生にレクチャーされ、何が描出されているか考えています。

3年生 後学期授業「総合臨床実習後演習」

3年生は、6月から9月の約3ヶ月間、各病院へ出向き臨床実習に臨みました。この演習では、実習の中で習得した知識など、学んだ事を3年生、次年度実習へ行く2年生に向けて発表しました。学生達は、発表することで自身の実習の統括を行うとともに、同級生の報告を熱心に聞きながら学びを深めていました。臨床実習で学んだことを4年生の就職活動で活かしてもらえることを期待しています。



4年生 後学期授業「細胞診断学演習」

がんの早期発見のために細胞の変化をいち早く捉えてがん細胞を見つけ出すのが細胞検査士です。日本臨床細胞学会が認定する試験に合格することで、資格が取得できます。細胞検査士養成コースの学生は「臨床検査技師」と「細胞検査士」のダブルライセンス取得に向けて日々努力を重ねています。

